●1月は職業奉仕月間です。
室蘭北ロータリークラブ
会報 むろらんだけ 室蘭岳
Rotary
2023～2024年度　国際ロータリーテーマ
CREATE HOPE in the WORLD
「世界に希望を生み出そう」
世界に希望を生み出そう　2023～2024年度 RI会長　ゴードン R. マッキナリー

2024年1月30日(火)　第2451回　例会

第2510地区　日本 (DISTRICT 2510 JAPAN)　●会長:藤井　徹也　●幹事:岸田　理　●編集:クラブ会報委員会

本日のプログラム

夜間例会「クラブフォーラム」

奉仕プロジェクト委員会
職業奉仕委員会

中華 (天津飯、焼売、サラダ、スープ、漬物、フルーツ)

次回の予定プログラム

卓話「FMびゅーが取り組む地域防災」

室蘭まちづくり放送株式会社
代表取締役社長　沼田　勇也 様
プログラム委員会

和食ランチ（小鉢、天丼、お椀、香の物、甘味)

※例会終了後、定例理事会を開催致します。

ニコニコBOX

藤井徹也 (今週は名古屋で展示会です)
宮本秀樹 (皆様お足元気をつけてください)
宮本一章 (娘が本日の民報に掲載されました)
廣瀬禎 (無事卓話終了しましたので)
赤崎幸三 (2月末竣工の芸術の森となりのサ高住に看板つきました)
西野義人 (中学生の部活の多くの署名ありがとうございました)

前回までの例会の報告

第2450回 (1月23日) 例会記録

［会長報告］

1．公益財団法人米山記念奨学会より
クラブに米山功労クラブ第11回米山クラブ感謝状が届きましたので後程回覧致します。
2．高柳知充様の入会にあたり異議がございませんでしたので、ご報告致します。

［幹事報告］

1．IM宿泊の件
IM当日の宿泊をご希望の方は1月27日迄、登別RC石田幹事までお申込ください(登録者へ申込書はFAX済みです)。
日　時:2024年2月10日(土)
宿泊先:登別グランドホテル
料　金:1泊朝食付
シングル15,000円(税込)
ツイン　10,000円(税込)
2．例会終了後、楓の間において職業奉仕委員会を開催致します。関係者はお集まりください。

各種記念日

誕生記念日　松木　高雪 会員　1月29日

出席報告

会員数	49名	出席者数	23名
出席免除者数	0名	欠席者数	26名
出席義務者数	49名	出席率	46.93%

●例会場　アパホテル室蘭　　●例会日　毎週火曜日　12：30　P.M.
●事務所　室蘭市中島町2丁目28-6（アパホテル室蘭）
●電　話　0143-45-6569　　●FAX　0143-50-6578
●URL http://murokita-rc.org/　　●E-mail mur-n.rc@athena.ocn.ne.jp

前回例会のプログラム

卓話「職業奉仕雑感」

廣瀬　　禎 会員
プログラム委員会

　職業奉仕は難しい、分かりづらいと言われますが何か誤解があるのではないか。「職業奉仕は理屈では分かるがそれを守ろうとすると商売にならない」的なイメージがあるのではないか。
　その理由として、「職業奉仕」という言葉が関係しているのかも知れません。
　原語は「ヴォケーショナル・サービス」ですが、

⑴奉仕という言葉は「目上の者に仕え奉る」「自己の利害を捨て目上、公共に尽くす事」という意味です。しかし、「サービス」という言葉は「他人のためになる事をする事」という意味です。
⑵「ヴォケーショナル」は「天職」という意味でこれはキリスト教から来る言葉で、正しい仕事から生まれた利益は、天から与えられた、神から承認されたものであるという考え方です。

従ってロータリーの職業奉仕は、決して利益を否定しておりません。
　ロータリーは当初「互恵取引」から始まったが、ドナルド・カーターの加入により、他の人々へのサービスが意識されるようになりました。
（シカゴの共同トイレ＝社会奉仕の始まり）
　社会奉仕は分かり易いが、では職業奉仕の考え方はいつ始まったのか。
　シェルドンが現在に至る考え方を確立させた。
　1908年「最も奉仕するもの最も報われる」は、今でも論議を呼んでいるが、彼は決して人間の自然な欲望である「利益」を無視してはいない。（情けは人の為ならず）

　この考え方は、日本に於いても古くからあった。
　近江商人
　・三方よし
　・積善の家に必ず余慶あり
　・義は、先にすればあとに利は栄え
　　富を良しとし、その徳を施せ
　渋沢栄一
　・論語とソロバン

ロータリーの職業奉仕の独自性はどこにあるのか
　ロータリーの目的は、例会への出席を通じて奉仕する能力、考え方は発達させる事にある（アイ・サーブ）
　しかし、クラブの功績に帰すべき素晴らしい活動もある（ウィ・サーブ）→「ジャングルの法則」（キップリング）「狼は、群れの力であり、群れは狼の力である」

　職業奉仕は、この奉仕する能力、考え方をつけた上での自己の職業を正しく行う事により社会に対してサービスを行う事ではないでしょうか。

　近年のロータリーは、奉仕活動（ウィ・サーブ）がメインとなり、それに必要な寄付と会員増強がメインとなり（ＣＬＰ）奉仕の心を養う事がおろそかになっていないか。
　奉仕活動も単なる寄付ではなく「魚を与えるより釣りを教える」的な活動をもっと重視するべきではないか。

　私はロータリーの職業奉仕を一言で表すと、「信用」という言葉が浮かんできます。

　信用を得る為には、どうするべきか
　信用を得たら…
　信用を失ったらどうなるか

　信用というくくりをしたら何となくどうすべきかが理解できるのではないでしょうか。さらに大事な事は職業奉仕の考え方を守らなければ（信用を失えば）破滅する可能性もあるかも知れないという事です。

第52回 IM開催のお知らせ

ホストクラブ：登別ロータリークラブ

日　時　2024年2月10日(土)
　　16：00～19：30
場　所　登別グランドホテル
テーマ　サスティナブルな社会を目指して
　　～先住民族の取り組みから学ぶこと～
講演者　北海道大学アイヌ先住民研究センター
　　准教授　落合　研一 様

【タイムスケジュール】
15：00　受　付
16：00　開会セレモニー
16：30　講　演
18：00　懇親会